

## モニター様 No. 11

### [再生環境]

- ・ iPod classic 5th + SONY PHA-1
- ・ iPod shuffle 5th

### [使用環境]

- ・ イヤホン到着後、約一か月間通学中に電車、バス内にて毎日 2 時間ほど使用
- ・ 混雑してる場合には iPod shuffle を、それ以外の場合は iPod+ PHA-1 を使用

### [主に聞くジャンル]

- ・ プログレッシブロック
- ・ J-POP
- ・ アニソン

### [装着感・遮音性]

- ・ 筐体が金属でできていることもあり、装着していると少し重みは感じるが、あまり気にはならない。
- ・ 遮音性は平均的なカナル型イヤホンと同程度で、電車やバスではあまりに大きい音量で使わない限り音漏れは気にする程度ではないと思われる。

### [音質]

878B 到着後すぐに一聴してみたのですが、正直な感想を述べますと、膨張したかのような低音に他の音域がマスクされて「これは…」となってしまいました。イヤピースはシリコンの M サイズを用いたのですが、ほかのサイズのものやコンプライではさらに低音の強調が激しくなり、逆にダブルフランジだと低音が抜けすぎてしまいました。

ですがその後 10 時間ほどエージングすると、最初に聞いた音は何だったのかと思うほど見晴らしのいい音像が浮かび上がり、なおかつ強烈な低音も下から全体を支えるように骨のあるものとなりました。ボーカルも、男性ボーカルは芯の太い聴きごたえのある鳴らし方を、女性ボーカルはとても自然な風な鳴らし方をするようになり、そして高音も嫌みのないスツとした抜け方です。何より聴いていてストレスのないバランスの良さが気に入りました。

一か月ほど使用しましたが、エージングするにつれて段々と高音域のクリアさが向上していくのを感じました。このイヤホンは最低でも 10 時間、さらに 50 時間ほどのエージングで本来の性能が現れると思います。また iPod shuffle のようなあまりパワーのない環境でもしっかりと音が鳴りますね。もちろんポータブルアンプを用いると表現力がさらに向上し、一段階上の音を鳴らすことができます。

### [他社のイヤホンとの比較]

- ・ Etymotic Research hf5

遮音性と正確な音で定評のある hf5 と比較すると、遮音性はさすがに hf5 のほうが上です。音質についてですが、全体的な音の細かさ、解像度は hf5 のほうが良いですが、低音の豊潤さや音の繋がり・滑らかさは 878B のほうが優れていると感じます。

- ・ SHURE SE215

次に SHURE の SE215 ですが、正直なところ音質では 878B は SE215 より解像度は高く、より自然で

あると思います。ですが SE215 は装着感、遮音性が素晴らしく、またリケーブルできるところも強みであり、その点では SE215 のほうがユーザビリティは上回っています。

[総評]

現在約 8,000 円弱で販売されているようですが、この価格帯でバランスのいい音を求めるなら筆頭候補に上がる、それほどの音質を持っていると思います。昨今の低音の強調された J-POP やアニソンと相性が良く、それでいてボーカルも自然であり、その他のジャンルでもあまり得意不得意はないと思いますね。遮音性や使い勝手はもう少し向上してほしいというのが本心ですが。

また先ほど述べたようにどのような環境でもしっかりと音が鳴らせる分、量販店などでの試聴環境が拡大すればさらに知名度は向上するのではないかと思います。次回作にも期待しております。

-- 以上 --

<注意>

本レポートは、シースピリッツ合同会社の Blue Ever Blue Mercury Model 878 モニタープログラムに基づいて選定されたモニターの方が作成したものであり、その著作権はシースピリッツ合同会社に委属し、個人的な閲覧目的のために供するものです。転載等をご希望の際は、シースピリッツ合同会社までご相談下さい (info@hakojiro.com) 。